

## 部活動を地域へ！ 部活動改革始まる

《学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について》

9月1日、スポーツ庁、文化庁及び文部科学省より、生徒にとって望ましい部活動の環境の構築と、学校の働き方改革を考慮した更なる部活動改革の推進を目指し、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」等が発出された。その中では、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域移行を進めていく等の方向性が示された。

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革についての概要（全日教連要約・抜粋）

### 〈部活動の意義と課題〉

- 【意義】部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な生徒が活躍できる場
- 【課題】教師の負担（長時間勤務、未経験の指導）、生徒にとって望ましい指導が受けられない

### 〈改革の方向性〉 第一歩として休日における部活動の在り方を改革

- 公立学校の働き方改革の視点から教師が部活動指導に携わる必要のない環境を構築する
- 部活動を希望する生徒が部活動を地域の活動として実施できる環境を整える
- 学校での部活動（平日）と地域での活動（休日）との連携を図る

### 〈具体的な方策〉

#### (1) 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）

- ① 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保
  - ・ 地方自治体は、民間人材を活用する仕組みの構築等に取り組む
  - ・ 休日の指導を望まない教師は休日の部活動に従事しない
  - ・ 休日の指導を希望する教師については、兼職兼業の許可を得て従事
- ② 地方自治体や保護者による費用負担と国による支援
  - ・ 部活動指導員の配置継続
  - ・ 地域部活動の費用負担について今後検討
  - ・ 休日の地域部活動を推進する拠点校（地域）の整備
  - ・ 拠点校（地域）における実践研究の実施

全日教連の提言が反映された点（抜粋）

地域での部活動を推進する実践研究の実施

総合型地域スポーツクラブ等や部活動指導員の活用

部活動指導を希望する教職員の認可

#### (2) 合理的で効率的な部活動の推進

- ① 合同部活動を推進する事業の実施
  - ・ 地域の実情を踏まえ、過疎地域における市町村を越えた他校との合同部活動
  - ・ 都市部における市内の近隣校との「拠点校方式」による合同部活動
  - ・ ICTの活用による地理的課題の解消
- ② 大会・コンクールの在り方の整理
  - ・ 関係団体による全国大会の見直しや地方自治体による地方大会開催の実態把握、大会の在り方の整理
  - ・ 大会参加資格について、学校以外のチームも参加できるような弾力的な取扱いの検討

大都市や過疎地域等様々な地域での実証研究

休日の大会等の見直し

### スポーツ庁の方針『地域移行は持続可能な部活動への第一歩』

生徒にとって望ましい部活動の実現と学校の働き方改革の推進を図る  
地域や活動内容等の状況を踏まえ、各地域で実践研究を行いながら段階的に着実に進める

※ 資料の詳細につきましては、右のQRコードや下のURLから閲覧できます。是非御覧ください。

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop04/list/detail/1406073\\_00003.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/detail/1406073_00003.htm)



全日教連はこれまで部活動ガイドラインの遵守や部活動指導員の配置を求めるとともに、部活動の在り方について協議を進めること等を要望してきた。更に8月には単位団体等の声を反映し、部活動外部指導体制の整備や校内における部活動指導体制の整備、関係団体等の連携等、部活動の抜本的改革への提言を行った。今回、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について検討され、その方策及びスケジュール等が示されたことは全日教連の要望活動の成果である。しかし、学校規模に応じた部活動数の明示や部活動の競技や内容と地域スポーツクラブ等とのミスマッチの解消については課題として残っている。

部活動改革は第一歩を踏み出したところである。全日教連は、反映が見送られた現場の声を引き続き関係省庁に伝え、本施策が子供たちや教職員にとって実効性のあるものとなるよう要望や提言を行っていく。